

## 修士論文の和文要旨

研究科・専攻	大学院 電気通信学研究科 人間コミュニケーション学専攻 博士前期課程		
氏 名	栗川 洋平	学籍番号	0636009
論文題目	トータルレコーディング利用ドキュメント作成支援システムの研究		
<p>要 旨</p> <p>Contents Management System (CMS) をメモシステムとして用いた場合に、ユーザーのやる気をくじくのは、記録したメモの再利用のしづらさである。再利用しづらさは、「メモとして記述した文書を全文検索を用いて検索することはできない」と、「ディスプレイ上に表示されたメモが読みづらい」ことに起因する。この問題を解決するため、記述中の文書と関連度の高いメモを自動提示するシステムを提案した。</p> <p>自動提示すべきメモを検索するアルゴリズムは、CMS が一般的にインストールされている共有型サーバーでも運用できるように、制度よりも短時間で処理が可能ないように設計し、実装した。</p> <p>結果として、共有型サーバーにインストール可能となるように、計算量のオーダーが<math>n</math>以下となるよう簡略化されたアルゴリズムでも、自動提示の場合には十分な精度を達成できることが、現在のシステムでは定量評価が不可能である。従って、自動提示の制度を測定するためのシステムを実装したメモシステム特化型 CMS の開発が必要であることが判明した。</p> <p>新システムには、以下の機能が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 文書記述時に留め置いたメモを記録し、記述中の文書を関連付ける</li><li>● 文書とメモの関連から特徴語的近さ以外の関連度を測定する</li></ul> <p>これにより、自動提示精度の定量化が可能であり、計算量のオーダーを<math>n</math>のまま精度の向上が図れると考える。</p>			